

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス キッズすまいる		令和8年 3月 3日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17%	83%	隣接している『はまゆり学園』のトイレを必要に応じて借りています。	スペースは十分ですが、トイレの数が男女共に1つずつしかなく少ないと感じています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17%	83%	職員の配置基準上は適切となっています。男女比率の考慮は要検討。	男子利用児童の人数が多いのに対し、男性職員の人数が少ないと感じています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	33%	67%	ステップ台を使用し段差を最小限にしています。滑りやすい箇所には、養生テープを貼っています。	玄関に段差があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	50%	50%	殺虫剤や防虫剤等を活用しています。	夏～秋にかけて、虫（特にカメムシ）が多く発生し、不快に感じることがあります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	67%	33%	パーティションで個別のスペースを設けています。	個室がありません。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		会議で話し合うことができています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		意向を把握し、できることから取り組んでいます。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		日々の打ち合わせや会議等で課題を共有し、業務改善に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		ISO 9001:2015の認証を受けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部研修、法人内研修、オンライン研修等、積極的に受講しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		支援内容を整理し、分かりやすい形で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		情報収集、分析し作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		会議を行い、共通理解に努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		年度初めの会議で共有し支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		日々の観察と評価ツールを組み合わせて把握しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		ガイドラインを基に必要な支援項目を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		活動内容について、職員間での話し合いの場を設け立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		会議で話し合った内容や評価を基に検討し、実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		個別活動や集団活動を設定し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝と昼に打ち合わせを行い、その日の活動内容等を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		夕方に打ち合わせを行い、その日の振り返りや送迎時の申し送り事項等を確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		日々の支援状況をケース記録し、必要に応じて検証、改善をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的な振り返りで計画の妥当性を確認しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		基本活動を組み合わせ、バランスよく支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	100%		やりたい活動や行きたい場所等を発表する機会を設けています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者が参加しています。		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		関係機関と連携し、必要な情報共有を行っています。		
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		学校からいただいた年間計画や月間予定表を基に、行事、休校日、下校時刻の確認をしています。		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		新入児受入時に限り関係機関と事前情報を共有し支援方針を調整しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		各関係機関の担当者へ情報提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		研修やイベントの案内があった際に助言や研修を受け支援に生かしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	近隣小学校の運動会見学に行きました。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	案内があった際に参加し情報共有や理解促進に努めています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時の保護者からの申し送りや連絡帳のやり取り等で情報共有しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		研修案内をお知らせし、情報共有しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		利用契約の際に説明しています。
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		面談や日々の対話を通じて、ご家庭の意向を伺っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		面談を行い、説明し同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		送迎時や連絡帳で家庭での様子を聞き取り、職員間で情報共有し保護者へ助言したり、自宅訪問し面談しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	保護者を招いてのレクリエーションを開催しました。その際、ご兄妹が参加されたご家族もいました。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情解決体制を整え、保護者からの要望等に対しては寄り添う姿勢を心がけて対応しています。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月1回、活動の様子を写真に記載した広報誌を保護者へ発行しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報使用同意書の説明を行った上で、同意を得ています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		視覚支援等のコミュニケーションツールを用いて、意思疎通の配慮をしています。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	地域住民を招待する行事は行っていませんが、地域の散策や近隣神社への参拝等を行っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		各種マニュアルを共有し、想定訓練を通して安全体制を整えています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		毎月1回、避難訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		通院状況、服薬状況(お薬手帳)の確認や、発作時の対応等随時保護者と情報共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	現在食物アレルギーのある児童はいません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		研修、訓練を行い、安全に配慮した支援を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		安全計画の内容を資料や説明で共有しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		KYT研修を実施しています。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止研修や、障害特性を理解するための研修等へ積極的に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		過去に該当する児童がいましたが、現在はいません。	